

幼稚園自己評価(平成26年度)

はぼたん幼稚園

★ 学年目標と評価

A 達成している B ほぼ達成している C あまりできていない D 全くできていない

年少	A	明るく伸び伸び、友達と楽しく遊んだり、活動する
	A	色々な運動、遊びに興味を持ち、元気に体を動かす
	B	衣服の着脱・食事・排泄・身のまわりの整理整頓の仕方を覚え、園での基本的な生活習慣を身につける
	A	茶道・音楽・体操・英語の先生と楽しみながら色々体験をする
	B	製作で使う用具(クレヨン・マーカー・はさみ・のり・他)の正しい使い方を覚える
	A	鍵盤ハーモニカ等の楽器で音を出す楽しさを知る
年中	A	遊びを通して、先生や友達と十分にふれ合い、みんなで生活することの楽しさを味わう
	A	ルールのある運動や集団遊びを楽しみ、体を十分に使って遊ぶ
	B	身につけた生活習慣を少しずつ自分達で出来るようにする
	B	生活や遊びを通して、いろいろな物の性質や数量に関心をもつ
	B	感じたこと、考えたこと等を音や動きや絵などに表現して楽しむ
年長	A	友達と一緒に遊びや仕事を進める楽しさを知り、友の存在の大きさに気づく
	A	自分の健康に関心を持ち、うがい、手を洗う、汗拭き等が自ら出来るようにする
	B	お約束(してはいけない事、して良い事)を理解し安全に気をつけて行動できるようにする
	B	話を最後まで落ち着いて聞き、話す時は相手がわかるように伝える
	B	身近な事象について、見たり考えたり触れたりする中で、物の性質や数量等を学んだり、認識したりする
	A	体験の中から美しい物をみたり、心を動かす出来事があった時、共感し合ったりして心豊かにする

★ 総合的な評価と反省

年少	<ul style="list-style-type: none"> ・4月当初は、緊張や不安を感じる事が多かった。園での集団生活や行事活動を経験する中で、友達の存在や、思いやりの気持ちを学んでくれたと思う。そんな中で、おもちゃ等の片付けを、友達まかせにしてしまう面があったので、皆で協力するという事を様々な面で生かさせていけたら良かったと思う。 ・朝の身支度は、自ら出来るようになり、喜んで登園する姿を見ると、成長を感じる事ができた。 ・担任、助手の8名職員が、共通理解をし、保育する事ができた。
年中	<ul style="list-style-type: none"> ・進級した喜びと、期待で、一人で頑張ろうとする気持ちがみられた。やった事に対し、自信がもてるよう助言し、指導してきた。その結果、園生活を充実させ、伸び伸びと行動できるようになった。 ・戸外遊びでは、ルールを守りながら遊ぶことが出来、集団遊びを楽しんでいた。
年長	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かって、様々な課題に一生懸命に取り組む事が出来た。 ・ひとりひとりの個性を認め、生かす事ができた。 ・思いやりの気持ちをもって、友達と力を合わせたり、仲良く元気に活動する事ができた。
全学年 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学年目標が、ほぼ達成できた。 ・支援の必要な子がいる組は、補助の先生を依頼し、学級経営ができた。

★ 今後取り組むべき主な課題

年少	<ul style="list-style-type: none"> 廊下を走らない事を、徹底していきたい。 自分の主張を強く出してしまう事も多いので、相手の気持ちを理解出来るように、指導する事が必要。
年中	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて話を聞き、理解し、物事に取り組めるようにする。 我慢する事を覚え、相手の気持ちを考えられるようにする。 鍵盤ハーモニカや、縄跳びなど、個人差が目立つので、個々に支援し、楽しんでできるようにする。
年長	<ul style="list-style-type: none"> 運動面を強化できたら良い。 戸外遊びの時間を長くするように心掛ける・・・自由遊びの中で、体力づくりが出来るようにする。
全学年 共通	<ul style="list-style-type: none"> 生活面に慣れてくると、当初守られていた約束ごと、「廊下の歩き方」「固定遊具の使い方」など、安全面がおろそかになりがちなので、度々確認・指導する必要がある。

★ 子育て支援についての評価

A 達成している B ほぼ達成している C あまりできていない D 全くできていない

預かり保育	A	降園後から、18時まで家庭の事情で希望する園児の面倒(教育・保育)をみる態勢を整えている。
長期休業中 預かり保育	A	夏、冬、春の長期休業中も、土・日・祝日・お盆・年末年始を除く月～金まで8時から18時まで家庭の事情で希望する園児の面倒(教育・保育)をみる態勢を整えている。
母と子の 「なぜなに教室」	A	<ul style="list-style-type: none"> 年間で7回程度、土曜日に開催している。未就園児と保護者が園庭で遊んだり、教員とのふれ合いを楽しむ企画であるが、毎回来園した親子には楽しんでもらっている。そして、次の来園を楽しみにしてくれている。 家庭での子どもの健康についてや、養育のあり方等について相談にのっている。

★ 私立小学校受験対策についての評価

A 達成している B ほぼ達成している C あまりできていない D 全くできていない

取 り 組 み		
A		受験を予定している園児に対して、年中の3学期から年長の10月まで、講師(元園長)を招いて週1回(45分)の勉強会と受験直前の面接指導(園長・園長補佐)を実施している

以上